

雲の上のます



た報

けすばら

- P2 脱炭素先行地域事業
環境への取組紹介機能を兼ね備えた
小型木質ペレット熱電併給事業について
- P4 梶原町・高知大学共催
「雲の上から未来の脱炭素社会について考える」開催
- P5 協働の森づくり
第12回「梶原交流の森」間伐体験交流会
第6回「梶原建マネふれ愛の森」間伐体験交流会開催
- P6 第13回「日本道路の森」交流会 開催
～森林セラピーロード修繕活動と植樹体験～
- P20 茅葺きの川上氏 県より表彰
あわせて大崎氏による書籍出版

12 **2022**
〈令和4年〉
No.774
月号

●世帯数/1,737 (10月末)
1,727 (11月末)
●人口/3,259 (10月末)
3,246 (11月末)
○出生… 0 ○死亡… 10
○転入等… 5 ○転出等… 8

脱炭素先行 環境への取組紹介機能を兼ね備えた 地域事業 小型木質ペレット熱電併給事業について

7月号及び10月号に掲載しました本町が脱炭素に取り組み全国モデル地域（脱炭素先行地域）としての事業の内、主要事業である小型木質バイオマス発電（熱電併給）事業につきまして、お知らせいたします。

梶原町再生可能エネルギー推進協議会では、再生可能エネルギーの地産地消や地域資源の循環型林業の発展による林業振興及び地域の雇用創出を目的として、小型木質バイオマス発電（熱電併給）事業の導入について調査を行ってきました。



脱炭素先行地域



協議会での検討の様子



木質ペレットの原材料となる林地残材



発電の燃料となる木質ペレット



先進地調査の様子①



先進地調査の様子②

● 木質燃料について

木質ペレット及びチップを利用した発電設備について設備規模等について検討を行いました。その結果、水分が少なく品質が安定している木質ペレットを使った小型木質ペレット発電（330kW）を選定しました。

● 熱利用（お湯など）が重要

小規模発電は、発電と同時に発生する熱をお湯などに利用することにより、再エネルギー効果が発揮されます。（熱電併給）このことから設置場所について、町内全域を対象にお湯などの熱利用の大きい官民28施設を対象に熱利用調査を行いました。

● 設置場所について

調査の結果、最も熱利用が多い雲の上の施設群（プール、温泉）周辺が適地であることが分かりました。この雲の上の施設群周辺について、設置に必要な条件、発電以外の付加価値等について検討を行い、「雲の上のプール前の斜面」を利用した候補地を選定しました。

選定した「雲の上のプール前の斜面」は、電柱との距離や燃料の運搬性、熱（お湯）配管が短く経済性が良いといった設置に必要な条件を満たしているだけでなく、

・クリーンエネルギー（再エネ電気・再エネ熱）を供給することにより癒しの空間（温泉・プール等）はもとより、新しい道の駅、ホテル、レストランへの付加価値の創出と太郎川公園の活性化

未来を担う子供達のための環境学習の場（利用施設が近くにあるので環境学習の場として直感的にイメージしやすく効果的）

・町の環境への取り組みを紹介する場

として、周辺の景観に合わせた整備を行い、「環境学習館」としての役割を担うことで太郎川公園の魅力を高める施設となることが期待できます。

● 先進地調査について

発電による稼働音・煙・臭い等運転時の状況について、選定した発電設備と同じ機種を設置し、かつ周辺環境が静かな山村の温泉施設（岐阜県）や宿泊施設（静岡県）に接している小型木

質ペレット発電所について先進地調査を行いました。

● 稼働音について

稼働音については、雲の上のプール前とホテル跡地付近で現状の音量を計測し、先進地の発電施設前の稼働音と比較を行いました。

先進地の温泉施設に併設した発電所前とホテルに併設している発電所前の稼働音を調査計測したところ、両方とも周辺施設に影響を与えるほどの音量ではありませんでした。また、先進地の発電所の稼働音は、雲の上のプール前、ホテル跡地付近で計測した音量の範囲内でした。

● 煙について

煙について、小型木質ペレット発電は、木質ペレットを直接燃や



先進地調査の様子③

さず、高温で蒸すことにより発生する木質ガスを燃料としてエンジンを動かし発電する仕組みとなっていることから、煙突から出るものは、主に水蒸気であり、その水蒸気は無色となっています。

● 臭いについて

臭いについても、先進地で確認しましたが無臭でした。先進地の担当者にも話を伺いましたが、周辺で臭うことは無いとのことでした。

こうした調査を重ね協議会では、脱炭素に取り組む全国のモデル地域（脱炭素先行地域）としての役割も考慮し、「環境学習」や「環境のまち」としての紹介機能を兼ね備えた小型木質ペレット発電所（熱電併給）の設置について



先進地調査の様子④

とりまとめ、11月18日に町長に対し提言を行いました。

小型木質ペレット発電により生まれた再エネ電気は、自営線により各公共施設や太郎川地区から大越地区沿いの町道に新たに設置する街路灯に供給するなど、国の再エネ推進交付金を活用し、消費電力の脱炭素化を行っていきます。

また、再エネ電気とともに再エネ熱（お湯など）は、雲の上のプールや温泉等に供給し、クリーンエネルギーとして活用することで太郎川公園のこれまでの魅力とともに新たな魅力の1つとなることが期待されます。

太郎川公園碑には、「昭和48年第1次オイルショックによって高度経済成長から一転して低成長時代へと変換を余儀なくされ『物で栄えて心を失った』と言われる現代社会にあって津野氏入国以来培ってきた文化、伝統を顕彰し、（中略）四国カルストや四万十川など豊かな自然、一千年を超える歴史と伝統、旅人をいたわり慰めてきた『茶堂の心』をもって都市との交流を深め、都会人には心のふるさとやすらぎを与え『日本の文化は山村から』という誇りをもって力強く生き抜くために、こ

の公園を造るものである」と記されています。

本町はこれまで、豊かな自然環境を生かした環境への取組を行ってきました。

まだまだ1千年のうちの数十年の取組ではありますが、本町の歴史文化の中に積み上げられてきています。

次の2千年に向けて、できることから取り組み、引き続き「環境のまち」として地球温暖化防止に貢献できるよう努めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

梶原町再生可能エネルギー推進協議会 環境整備課



発電施設の断面イメージ (環境学習の場として)

「雲の上から未来の脱炭素社会について考える」開催

梶原町・高知大学共催



脱炭素社会の重要性について語る関根教授



早稲田大学生による研究・大学生活の発表



早稲田大学生とワークショップの様子

11月19日（土）、梶原町生涯学習交流センター（ゆすゆす）で、梶原町と高知大学共催のワークショップ「雲の上から未来の脱炭素社会について考える」を開催しました。

当日は、梶原高校生や地域住民のみなさん合わせて約40名が参加しました。

早稲田大学・関根泰教授、高知大学 堀見和道理事特別補佐、

6名の早稲田大学生・院生と、これからの脱炭素社会について考え、進路を考えている高校生は大学生活について熱心に話を聞いていました。

関根教授は、「脱炭素社会の実現に向けて、これまでの地中からエネルギー資源（石油や石炭など）を掘りおこす地下資源に頼ってきた状態から、地上にある資源を有効活用する方向へシ

フトしていかないといけない」と述べられました。また現在、高知県と高知大学との共同で推進している、グリーンLPガス（木材等のバイオマス資源から作られたガス）の可能性、についても講演していただきました。

堀見氏は、「世界が脱炭素社会を目指していく中で、梶原町が再生可能エネルギーを活用し自然エネルギー100%を目指している取り組みは、県内や日本中を見渡しても数少ない。それを誇りに感じ、一人ひとりの生活の中で未来の脱炭素社会実現

に向けて意識ある行動が大切で「す」と述べられました。

関根教授の研究室に所属する学生6名は、自身の研究や研究内容が未来の地球を救う目標に向かって、脱炭素社会にどのよう活用に活用されていくのかをお話しされました。普段の生活では触れることのない分野で難しい内容ではありましたが、参加者は、関根教授や学生が、地球環境を良くし、脱炭素社会の実現に向けてどれだけの熱意で研究し取り組まれているかを肌で感じていました。

梶原町は、今年4月に、四国で唯一の「脱炭素先行地域」として選定されました。「脱炭素社会の実現」のためには、地球に生きる一人ひとりのエネルギーに対する思いやりや意識が欠かせません。地球の環境を考えるきっかけや、大切にする意識が根付く機会となったのではないかと思います。

まちづくり推進課

協働の森づくり
第 12 回 「梶原交流の森」 間伐体験交流会
第 6 回 「梶原建マネふれ愛の森」 間伐体験交流会開催

第 12 回「梶原交流の森」間伐体験交流会並びに第 6 回「梶原建マネふれ愛の森」間伐体験交流会を 10 月 29 日（土）、川井地区において開催しました。

このイベントは、本町と協働の森づくりパートナーズ協定を締結し、共に森づくりを行っていただいている、一般社団法人 四国クリエイト協会の職員と家族 32 名の皆様と、株式会社建設マネジメント四国の社員と家族 54 名の皆様のご参加をいただき、開催いたしました。

当日は、協定林において、下草刈り、除伐体験等を行った後、ゆすはら・夢・未来館にて昼食をとり、食後は梶原産の椎茸やドレッシング、チーズケーキなどを景品にじゃんけん大会を行い、大いに盛り上がりました。

今後、この協働の森づくり事業を通じて、水源の森林としての適正な森づくりを行い、森林への理解を深めていただけるよう取り組んでいきたいと思ます。

森林の文化創造推進課



株式会社建設マネジメント四国の皆様



一般社団法人四国クリエイト協会の皆様



下刈りの様子



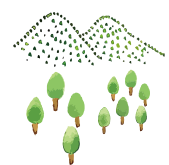
枝打ちの様子



じゃんけん大会



下草刈りの様子



第13回「日本道路の森」交流会 開催 〜森林セラピーロード修繕活動と植樹体験〜



11月17日、18日の2日間、第13回「日本道路の森」交流会を開催いたしました。本活動は、高知県の「環境先進企業との協働の森づくり事業」として、森林の再生を行うと共に、本町とパートナーズ協定を締結している日本道路株式会社の皆様と地域との交流を深めることを目的として開催しています。

今年も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、活動規模を縮小しましたが、日本道路株式会社社員の24名の皆様にご参加いただきました。

1日目は、開会式、記念撮影を行い、地元食材を使ったお弁当をいただいた後、松原まろうど会の下元廣幸さんのアドバイスを受けながら、久保谷セラピーロードの修繕を行いました。荒れた歩道に土を運び、路面を整地する作業でしたが、皆で協力して、あっという間に綺麗に整備されました。その後、往復約6kmのセラピーロードを、秋の深まりや森の息づかいを感じながら、皆で歩きました。作業し始めた頃は、曇り空でしたが、歩き終える頃には、暖かな木漏れ日が差し込んできて、達成感を浮かべた参加者の表情を照らしました。

2日目は、朝早く、総合庁舎前に集合し、吉田町長から、日本道路株式会社の皆様、これまでの森づくりへのご協力に対するお礼と引き続き

きのご支援をお願いしました。その後のペレット工場見学では、森林組合の中越信也統括部長から、木質ペレット製造工程について、説明していただきました。皆様、興味深そうに見学されていました。続いて、仲間集落の協定林で、仲間造林生産組合の土釜清代表のご協力のもと、地域おこし協力隊の下村智也さん、山口佑貴さんから指導を受けながら、ヤマザクラやコナラなど、合わせて100本の植樹を行いました。澄み切った秋空の下、美味しい空気を吸いながら、植樹を体験し、未来の森林の在り方に思いを馳せました。交流会の最後には、西の川交流センターで、地元の方の料리를堪能しました。

本交流も、おかげさまで13回目を無事終えることができました。これからも地域の方との交流を通じて、梶原の森づくりを行うと共に、森と共に生きる梶原の魅力について理解を深めていただきながら、地域活性化に繋がるように取り組んでいきたいと思います。

最後に、本活動にご尽力いただきました日本道路株式会社の皆様、そして地域の皆様に、あらためて感謝申し上げます。

森林の文化創造推進課



協力してセラピーロードを整備



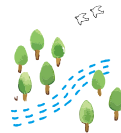
セラピーロードを散策



ペレット工場の見学



広葉樹を植樹



日本道路株式会社と地域の皆様

ゆすはら地域おこし協力隊 「山づくりに夢をもって」

ゆすはら地域おこし協力隊として、
梶原に移住してきた山口佑貴さん。林
業技術の習得に励む一方、家族との時
間を大切にしながら、梶原での新しい
生活にチャレンジしています！



ゆすはら地域おこし協力隊
やまくち ゆうき
山口 佑貴 さん

家族と過ごす時間を大切にしたい

私は、今年の4月に高知市から移住してきました。結婚が移住の動機のひとつですが、自然に囲まれた生活に満足しています。穏やかな町並みや美しい四国カルストの山々も大変気に入っています。

梶原に移住して、8ヶ月が過ぎましたが、家族と過ごす時間が増えて、嬉しく感じています。畑で育てた野菜を食卓に出し、家族で食事をするのが楽しみです。また、私自身、地域の歴史や風土に興味があり、梶原の地名や言い伝え等を調べに図書館へ行ったり、町内を散策したりと充実した毎日を過ごしています。

強い気持ちで仲間と林業を学ぶ

私は林業の担い手となるため、ゆすはら地域おこし協力隊として、林業技術の習得に励んでいます。特に今は、伐採技術の向上に力を入れています。木が裂けないように、集材しやすいようにと、木を一本切り倒すだけでも、丁寧な技術が求められ、林業の奥深さを感じながら、研修に取り組んでいます。力仕事が多く、体力もまだまだ足りていませんが、「他の地域おこし協力隊には負けられない！」という強い気持ちで日々努力しています。



伐採の上達に向けて研修中！

山づくりをしっかりと担いたい

現場研修の合間や休日を利用して、草花や樹木を観察するように心がけています。将来は、梶原の森林を案内できるガイドのような仕事もやってみたいと考えており、地道に植物を勉強しています。その他、農産物の直販、ヤギやニワトリの飼育、子どもが遊べる森をつくる等々、やってみたいことはたくさんあります。夢は多く持ちつつ、まずは、梶原の山づくりをしつかり担えるように、林業の基本をひとつずつ学んでいきたいと思っています。

森林の文化創造推進課



様々な林業現場で技術を学ぶ

第9回 栲原町芸術祭開催



10月22日(土)、23日(日)に第9回栲原町芸術祭を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、ゆすはら座での町民ステージも復活しました。

22日は、ゆすはら・夢・未来館1階ロビーで、栲原茶道クラブによるお茶の接待を行いました。

23日は、海洋堂ホビー館四万十による「ジオラマ教室」、かわぞえうどう氏による「福だるまの色付け教室」を開催しました。

■ 絵画特別展示会

雲の上の図書館では、絵画特別展示会を開催しました。森林管理官の森下嘉晴氏より寄贈いただいた「アカガシ」をテーマとした作品を展示しました。

■ 町民作品展・学校作品展

ゆすはら・夢・未来館2階大ホールでは、町民作品展及び学校作品展を開催しました。一般からの作品や、栲原こども園・栲原学園・栲原高校の児童生徒の作品展示を行いました。

なお、学校作品展の入賞者は、次のとおりです。

硬筆の部



毛筆の部



4学年

金賞 下井 文乃
銀賞 長田 みのり
銅賞 佐竹 沙也子

5学年

金賞 宮内 美璃
銀賞 石戸谷 小美
銅賞 森山 一成

6学年

金賞 大崎 陽風
銀賞 田村 優介
銅賞 大谷 成穂

7学年

金賞 坂本 こうこ
銀賞 中越 沙侑
銅賞 宮内 颯大

8学年

金賞 川上 咲実
銀賞 中越 康介
銅賞 片重 優里

9学年

金賞
銀賞 中越 由依
銅賞 山口 大智
ころり

3学年

金賞 那須 秋仁
銀賞 高橋 優奈
銅賞 山下 真冬

4学年

金賞 影浦 帆乃
銀賞 上川 璃心
銅賞 西川 快

5学年

金賞 西村 悠生
銀賞 西森 妃世
銅賞 高橋 宗也

6学年

金賞 吉富 寿
銀賞 津野 優彩音
銅賞 武正 彩咲

7学年

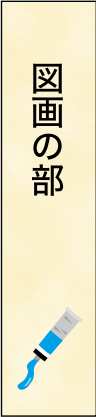
金賞 中越 飛翔
銀賞 西添 朱音
銅賞 廣瀬 舞

8学年

金賞 上田 咲来
銀賞 松下 明里咲
銅賞 糸井 柊子



5 学年	4 学年	3 学年	2 学年	1 学年	9 学年
金賞 銀賞 銅賞	金賞 銀賞 銅賞	金賞 銀賞 銅賞	金賞 銀賞 銅賞	金賞 銀賞 銅賞	金賞 銀賞 銅賞
高山 花和 中越 幸一 森山 一成	高橋 瑞季 長谷部 峯々 河野 天空	森山 琴子 木下 悠汰 大利 心櫻	川上 琥白 西村 葵衣 川田 彩陽	長田 大藏 山本 陽友 川田 妃莉	廣瀬 花乃 下元 里奈 中越 美翔



6 学年 出展なし

7 学年 金賞 高橋 碧人
銀賞 廣瀬 舞
銅賞 宮崎 唯月

8 学年 金賞 片重 優里
銀賞 松下 明里咲
銅賞 田尾 元希

9 学年 金賞 糸井 日向
銀賞 下元 野栄
銅賞 上川 大智

来場者の方には、入場者名簿への記入や手指消毒、検温などのご協力をいただくことで開催することができました。芸術祭の開催にあたりご協力いただいた皆さまに、改めて御礼申し上げます。来年度も多くの出品や発表をお待ちしております。

梶原町芸術祭実行委員会



3



4



5



1



2

- 1 町民ステージの様子
- 2 町民作品展の様子
- 3 ワークショップの様子
- 4 絵画特別展示会
- 5 学校作品展の様子



バスの乗り方教室開催

11月13日(日)、総合庁舎にて実施された日曜健診に合わせ「バスの乗り方」と「ICカードですか」の利用方法を体験する教室を開催しました。

あいにくの雨の中、健診を終えた皆さんを呼び込み、須崎・梶原間を実際に運行している最新のノンステップバスを使用し、乗車体験をしていただきました。10月に再編された路線バスの時刻表を見ながら、最寄りのバス停から、目的地までの行き方を確認したり、釣り銭を気にせず利用できる「ICカードですか」を乗車口や運賃箱にピッとかがざしたりと、実際の乗車をイメージしていただきました。

体験した人からは、「今のバスは、ステップが出てえいねえ」「何十年ぶりにバスに乗った」「一日に何回もバスが走りゆうのを見るき、今度乗ってみる」という感想がありました。

運転免許証の返納などで、車を利用できなくなった時、頼りになるのが公共交通です。元氣

なうちから、公共交通に慣れ親しんでいただけよう、今後も説明会やイベントを開催します。

時刻表や運行経路など、不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問合せ】

高知高陵交通梶原営業所
梶原町役場 総務課



第24回雲の上杯争奪ゲートボール大会開催

11月25日(金)、大越グラウンドで、町内外2市3町から10チーム(うち町内4チーム)、が参加し、24回雲の上杯争奪ゲートボール大会が行われました。

5月に天候不良により延期された今大会ですが、大会中は雲一つない晴天で天気恵まれ、参加者55名は町内外の方達と交流を深めながら、ゲートボールを楽しんでいました。

各チーム熱戦の末、中央衛星会(梶原町)が優勝という成績を収めました。大会の結果と参加チームは次の通りです。

- 【優勝】中央衛星会(梶原町)
- 【準優勝】窪川チーム(四万十町)
- 【第三位】ひまわりつくば(四万十市西土佐)

- 〈その他の参加チーム〉
- ・森の国(松野町) ・久留美会(松野町)
 - ・大洲市脇川(大洲市) ・N・T・C(西土佐)
 - ・親和会(梶原町) ・四万川(梶原町)
 - ・上松長寿会(梶原町)



優勝された中央衛星会の皆さん

生涯学習課

第34回町長杯争奪ゲートボール大会開催

11月27日(日)、大越グラウンドで町内7チーム36名に参加いただき、第34回町長杯争奪ゲートボール大会を開催しました。

4月に天候不良により延期した今大会ですが、当日は天気に恵まれ、絶好のゲートボール日和となりました。

和気あいあいとした雰囲気の中でも真剣勝負が繰り広げられました。熱戦を繰り広げ、優勝したのは、中央衛星会でした。大会の結果と参加チームは次の通りです。

- 【優勝】中央衛星会
- 【準優勝】四万川
- 【第三位】川西路

- 〈その他の参加チーム〉
- ・上松長寿会 ・松原
 - ・民生児童委員チーム ・親和会



優勝された中央衛星会の皆さん

生涯学習課

令和4年度高知県更生 保護事業功労者顕彰式典

11月16日高知市において、高知県更生保護事業功労者顕彰式典が開催され、この度5名の保護司の方々が表彰されました。

法務大臣表彰

松山 榮喜 (大向)

高知県知事感謝状

志手 功 (川西路)

四国地方更生保護委員会委員長表彰

片岡 幸作 (田野々)

氏原 昇佐 (影野地)

高知保護司会連合会長表彰

西村 義幸 (六丁)

地域住民の犯罪や非行防止のため研修や活動に熱心に取り組み、過ちを犯した人々の立ち直り支援や相談対応など、地域における更生保護活動の功績が評価されたものです。



法務大臣表彰を受章された
松山榮喜さん

令和4年度高知県 功労者表彰受賞

梶原町民生委員児童委員協議会会長の西村正義氏が、令和4年度高知県功労者表彰(社会福祉関係)を受賞され、11月3日文化の日、高知市で行われた「高知県功労者表彰受賞式典」において、高知県知事から表彰状を授与されました。

多年にわたり民生委員児童委員を務めるとともに、同協議会会長や須崎福祉保健所管内民生児童委員連絡協議会会長など関係団体の要職に就き、組織運営や活動の充実に努めるなど、社会福祉事業の推進及び地域福祉の向上に寄与した功績が認められたものです。



濱田高知県知事より表彰を受ける
西村正義さん

このたびの受賞、誠にありがとうございます。

「いい歯」の表彰 おめでとう

11月6日(日)、高知県歯科医師会館で「高知県いい歯の表彰」の表彰式が開催されました。

当日は、当町より「親と子の部」で下組の佐伯美佳さん・慧くん親子が令和3年度に実施された3歳児歯科健康診査受診者3千983名の中から「優良賞・高知県歯科医師会長賞」を受賞されました。

佐伯さんは、「この度は、このような素晴らしい賞に選んでいただきありがとうございます。

まだまだ歯磨きを嫌がることもある慧ですが、仕上げ磨きは私と夫で分担し目を変えて汚れを落とせるように日々工夫しています。

これからも親子共々美しい歯を維持できるように家族で協力していきたいです」と受賞の喜びを語ってくれました。

保健福祉課では、歯の予防対策として、乳児健診、幼稚園や学校などに歯磨き指導や食生活指導を行っています。小児健診でも希望されるお子さまには、

フッ素塗布も行っています。

むし歯や、歯周病のない健康な生活を送るためにもご家庭での歯みがきや食生活が重要になってきます。また、歯医者での定期健診や指導を受けて健康な歯を守るようにして下さい。

いつでも相談に応じていますので、お気軽にご相談下さい。

保健福祉課 健康増進係
☎65・1170



民生委員児童委員及び主任児童委員について

令和 4 年 12 月 1 日から、各区の民生委員児童委員及び主任児童委員が着任しましたのでお知らせします。

民生委員児童委員および主任児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で任期は 3 年間です。

民生委員児童委員は、住民の皆さんが安心して暮らせるよう、生活や福祉全般に関する相談や支援活動を行っており、相談内容に応じて関係機関へつなぐ役割を果たしています。

また、主任児童委員は子どもと子育て家庭への支援を専門的に担当します。

【主な活動】

- 高齢者の見守りや訪問
- 福祉サービス制度や相談窓口の案内
- 日常的な支援に関する相談
- 生活に困ったときの支援窓口を紹介
- 妊娠中から子育ての相談 など

委員には守秘義務が課せられており、相談内容や個人情報を守られますので安心してご相談ください。

保健福祉課

民生委員児童委員 (任期：令和 4 年 12 月 1 日～令和 7 年 11 月 30 日)

地区		氏名	住所	電話番号	担当部落
越知面区		川上 寿久	横 貝	68-0017	横貝、太田戸、上本村、井の谷
	新	黒瀬 多津子	下 本 村	68-0203	下本村、永野、田野々
四万川区		白石さかえ	東 川	67-0134	下組、東川、上組、中の川、本も谷、茶や谷、富永
		山口 眞知子	文 丸	67-0836	井高、坪の田、文丸、神の山、坂本川、六丁、東向
東 区		西村 正義	仲 洞	65-0521	後別当、大蔵谷、太郎川、神在居、仲洞
		武正 眞智子	川 西 路	65-1255	町組全部、川西路
		宮岡 恵	飯 母	65-0522	飯母、豊原、川井、川口
西 区	新	家森 裕二	下西の川	090-4504-0376	仲間、上西の川、下西の川、竹の藪
	新	西村 斗代美	上 成	67-0528	広野、宮野々、上成、松谷
初瀬区		高橋 正知	下 折 渡	62-3580	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、仲久保
松原区	新	村田 貴代子	大 向	66-0215	大向、中平
		久岡 健市	松 原	66-0173	松原、久保谷、島中

主任児童委員 (任期：令和 4 年 12 月 1 日～令和 7 年 11 月 30 日)

町内全域		片岡 志保	大 蔵 谷	65-0662
	新	田邊 みどり	川 井	65-0807



木のおもちゃ スリーランについて

スリーランとは、木製のブロックに赤色・黄色・ライトグリーンの色付けをした積み木のようなおもちゃで、町内のスリーランクラブ(代表・宮本友和氏)が就労支援の取り組みとして販売しています。

一人遊びが多くなった今だからこそ、子どもから大人まで一緒に遊んでほしいとの願いが込められています。

【遊び方】

- ① 緊張ゲーム
3本ずつ交互に積み上げ、順番に1本ずつブロックを引き抜き、抜いたブロックを上段に置く。ブロックが落ちたり崩れたりすると負け。
- ② ドミノ倒し
順番に並べて、最初の1本を倒す。最後まで倒れると大成功。
- ③ 高くなりれ
高く積み上げた方が勝ち。

スリーランは1セット(各色8本・計24本)2,500円で販売されています。水性のペンキを使用しており、口に入れることはできないので、乳児が遊ぶ際はお気をつけください。

【問合せ】

スリーランクラブ 代表 宮本友和
090・5147・504



いくつになっても 自分らしく元気に生活するための「介護予防」!

☑ 初めに

「年齢を重ねても、元気に自分らしく過ごしたい」これは誰しもが願っていることだと思います。しかし、年齢を重ねるごとに、無理がきかなくなったり、外に出ていく機会が少なくなったりしていませんか？
今回は、いくつになっても自分らしく元気に生活するために今からできること「介護予防」についてお話したいと思います。

☑ 介護予防って？

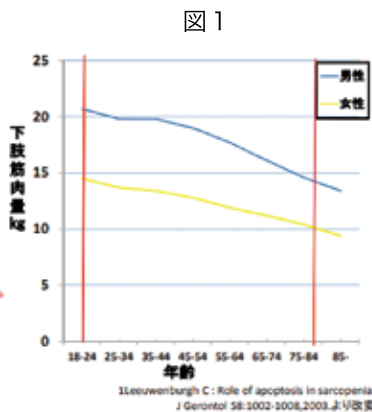
介護予防とは、要介護状態になることをできる限り防ぐ、または遅らせること、そして要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐこと、さらには軽減を目指すことと言われています。

また、介護保険法第4条には、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めること、現在有する能力の維持向上に努めることは国民の努力及び義務と明記されています。
加齢にともなう筋肉や生活の変化

は大きく、要介護状態になるリスクを持っています。介護が必要になる原因は「認知症」「脳血管疾患」に次いで、「高齢による衰弱」「骨折・転倒」「関節疾患」と筋肉の低下に伴って起こる状態が多くなっています。

☑ 年齢による筋肉量の変化

図1のように下肢の筋肉は20歳代をピークに低下し、80歳代で約30%低下するといわれています。筋力が低下すると、歩いたり立ち上がるなどの運動機能が衰え、要介護状態や寝たきりになるリスクが高くなります。



最近、筋肉が弱ってきたなど感じることはありますか？次のセルフチェック項目のうちいくつ当てはまりますか？



セルフチェック

- 片足立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたりすべったりする
- 階段を上がるのに手すりが必要である
- 家のやや重い仕事が困難である (掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)
- 2 kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である
- 15分くらい続けて歩くことができない
- 横断歩道を青信号で渡り切れない

7つの項目のうち、1つでも該当する人は「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態です。筋力が低下すると疲れやすくなり、さらに動く機会を減らしてしまうため悪循環になってしまいます。筋力をつけること、今以上に筋力を低下させないためにできることを行ってみましょう。

☑ 元気に生活するために 今からできること

- ① きょうよう…「今日用事がある」所がある
 - ② きょうい…「今日行くべき場」
 - ③ ちよきん…「筋肉を貯める」
- 「筋肉が低下し、出かけることができなくなり、介護が必要になる」

と思われがちですが、実際は、「出かけることが少なくなったために筋肉が低下し、介護が必要になる」といわれています。出かける機会を維持することができれば、筋肉の低下による転倒などを防ぎ、元気で自分らしく過ごす期間を長くすることができます。

人と話したり出かけたい、趣味を続けたい、畑仕事を続けたいなど、今後どんな生活を送りたいのか改めて考えてみてください。

また、介護予防の1つとして高知市が作った「いきいき百歳体操」が、町内各地でも実施されています。開催場所や日時が知りたい方は保健福祉課までご連絡ください。

☑ 最後に

今は生活に困ってはいなくても、数年後の自分のためにできることを始めてみませんか？

ぜひ、自分らしく元気に生活していくためにも「きょうい」「きょうよう」「ちよきん」を意識しながら生活していきましょう。

また、生活の中でお困り事がある際は保健福祉課までご相談ください。

【問合せ先】

保健福祉課 ☎ 65・1170

住民避難訓練の実施 弾道ミサイルを想定

11月19日（土）、内閣官房や消防庁、高知県の協力のもと、役場周辺の方を対象に、弾道ミサイル飛来を想定した住民避難訓練を実施しました。

当日は、自宅での避難行動と併せ、雲の上の図書館で来館者や近所の方など約40人が参加のもと、午前10時過ぎのミサイル発射放送を合図に避難を開始しました。

参加者は、屋外の防災行政無線から避難を呼びかける放送を聞いた後、爆風から身を守るため、館内の窓がないえほんコーナーへ避難し、姿勢を低く、頭



絵本コーナーに避難する参加者

ミサイル飛来の放送を聞いたときは

屋外にいる場合
【爆風や破片などを避ける】

近くの建物の中（できれば頑丈な建物）
または **地下へ**

もしも、近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す
または
地面に伏せ 頭部を守る

ミサイル飛来の放送を聞いたときは

屋内にいる場合
【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】

窓から離れる
または **窓がない部屋へ**

ミサイル飛来の放送を聞いたときは

部を守るための体勢をとりました。

弾道ミサイルが国内に落下する可能性がある場合には、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

万が一、身近に落下した際に、激しい爆風や破片から身を守るため、窓から離れ、身を低くするなど、今一度とるべき行動の確認をお願いします。

総務課総務危機管理係

在宅生活おうえん事業補助金について

在宅で暮らしている高齢者や障害児（者）の生活を応援し、要介護状態への進行防止や自立生活の継続助長を図ることを目的として、補助を行っています。

▼ 対象者

町内在住の65歳以上の高齢者及び障害児（者）。ただし、要介護・要支援認定を受けている方については、介護保険サービスの住宅改修及び福祉用具購入を優先し、障害児（者）については、障害福祉サービスが優先されます。

▼ 補助内容

① 住宅改修

材料費の90%を助成

＝限度額63,000円

※材料費のみが補助対象ですので、工賃等は含みません。

② 福祉用具

90%を助成

＝限度額27,000円

①と②それぞれ利用できます。いずれも対象者1人につき、生涯にわたって、限度額まで補助金を交付します。



※1回の交付で限度額まで補助金を使い切らなかった場合は、2回目以降も残額を限度に交付申請が可能です。
※申請には、工事前・後の写真や、材料代等や購入用具の領収書が必要です。
申請の希望をされる方は、住宅改修の工事内容や福祉用具の種類によっては補助対象外となる事があるため、工事及び購入前にご相談ください。
【問合せ先】
保健福祉課 福祉係
☎ 65・1170

福祉用具の例

- ポータブルトイレ
- 歩行器
- 入浴用イス
- ベッド手すり
- 杖 など

住宅改修の例

- 手すりの取付け
- 段差解消 など



学習発表会 & ウェルカムコンサート

11月5日(土)、「学習発表会 & ウェルカムコンサート」を開催しました。

今年度は、午前中「小学校の学習発表会」、午後から「中学校のウェルカムコンサート」と1日開催です。

運動会が延期になった分、10月の行事が集中した為、練習期間も短くなりましたが、各学年、これまでの取り組みと団結力を発揮し、多くの成果と成長を披露することができました。

参加者の皆様からは、「各学年の良さや学びの足跡を見ることができた」「可愛らしさ・たくましさ・面白さ等、様々な感動感沢山の発表会だった」「子どもたち、そして先生方の頑張りには拍手！」等、多くの嬉しい感想をいただくことができました。

多勢の人の前で発表する機会がなかなか無い今だからこそ、行事を通して学ぶこと・得ることが子どもたちにも教員にもたくさんありました。

学習発表会プログラム

- ① 3年生 音読劇 『サーカスのライオン』
- ② 2年生 音読劇 『ニャーゴ』
- ③ 1年生 音読劇 『サラダで元気』
- ④ 4年生 英語劇 『18匹の子ぶた』
- ⑤ 5年生 創作劇 『逆転シンデレラ』
- ⑥ 6年生 『平和の学び～1年間で学んだこと～』



国語科で学習した物語を、劇化。小道具や衣装等も、自分たちで作成しました。(左:2年生「ニャーゴ」 右:3年生「サーカスのライオン」)



誰もがよく知っている童話を自分たちで劇にしました。(左:4年生英語劇「18匹の子ぶた」右:5年生「逆転シンデレラ」)

「ウェルカムコンサート」プログラム

- ① 9年生 統合学習の発表
〈お箏・茶道・津野山神楽〉
- ② 合唱コンクール (7～9年生)
- ③ 音楽部 演奏

一部の記事はホームページでも見ることが出来ます。
<http://www.yusuharagakuen.jp/>



- 1 9年生の総合学習で学んできた「津野山神楽」「茶道」「お箏」を披露。完成度の高さに、地域の方々の熱心なご指導と子どもたちの熱い思いが伝わってきました。
- 2 各学年の団結力を感じた合唱コンクール。
- 3 会場を更に盛り上げてくれた「音楽部の演奏」





榊高だより

中高合同キャリア講演会

10月14日（金）、本校体育館で、榊原学園8年生、東津野中学2年生、榊原高校全校生徒が参加してのキャリア教育講演会が行われました。津野山地域中高一貫教育推進協議会の主催です。

講師は、追手門学院大学の倉部史記（くらべ・しき）先生。主としてキャリア形成をテーマとする講演を全国各地でされている先生です。「未来の自分の創り方」と題して、15年後を想定した今後の生き方を、生徒たちの目線でお話いただきました。



遠隔教育キャリア講演会

10月26日（水）、高知県教育センターが、授業・補習・講演会などを県内各校へ配信している遠隔教育。本年度のキャリア教育講演会の講師は、地元榊原病院の岩本啓寛（いわたもと・よしひろ）医師です。本校会議室から、県内14校の高校生に配信されました。榊高からは2年生を中心に9名が対面で参加しました。

大学時代の生活、医師となつてからのこと、そして高校生に向けてのメッセージ等の話に、高校生は大いに刺激を受けていたようです。

ホームデー

10月28日（金）は、生徒たちにとって待ちに待ったホームデー（遠足）でした。1年生は天狗高



原へ、2、3年生は須崎へ行き、学年ごとに生徒企画のプログラムが行われました。

1年生はプラネタリウム、バーベキュー、天狗高原散策を、2、3年生は海上でのカヌーとサップ、バーベキューを楽しみました。各学年、思いおもいに過ごした1日でした。

開校記念行事

榊原高校は、11月21日に創立88年を迎えました。創立記念日に先立つて11月11日（金）、開校記念行事が同窓会主催で開催されました。

今年も、女性狂言師の三宅藤九郎氏をお迎えし、ゆすはら座を会場として「狂言の立ち居振る舞いに見られる日本の心」と題したワークショップをしていただきました。



まずは本校デイスカパークラブによる津野山神楽の披露から始まり、三宅さんからのアドバース、狂言との関わりと狂言への思い、お稽古の実演と、限られた時間ながら盛りだくさんのワークショップでした。生徒たちは三宅さんの話に引き込まれ、特にお稽古の実演では、その迫力に圧倒されていました。

高文祭

11月12日（土）、高知県高校総合文化祭郷土芸能大会が県立美術館ホールで開催され、本校デイスカパークラブが参加して優秀賞をいただきました。

来年夏の全国総文祭（かごしま総文）へは残念ながら参加できませんが、引き続き練習に励み、神楽の伝承を続けていきます。



雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

自分を癒す、贅沢なひととき

アロマオイルを作るワークショップ



忙しい日々の中で、ゆっくりと自分に向き合う時間は中々取れないものですね。今回はアロマ・エステ業界で数々の実績を持つ堀見万里子さんをお招きし、自分だけのアロマオイルを調合する方法を教わりました。香りの感じ方はその日の体調や気分ですぐ変わるため、嗅覚を研ぎ澄ますことで自分の嗜好やバイオリズムが分かるとのこと。参加者は沢山のアロマオイルをじっくりと嗅ぎ比べ、自分自身の新発見を楽しんでいる様子でした。

健康の悩み、一挙に解決！

お医者さんに聞いてみたい質問あれこれ



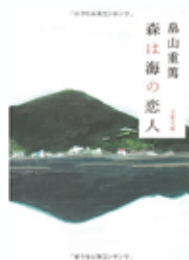
優しい人柄が魅力的な高知大学医学部教授、渡橋(おりはし)和政先生をお招きし、健康に関する講演会を開催しました。後半の質問コーナーでは、認知症を予防するにはどうしたらいい？シャワーで済ませずに、湯船につかったほうがいい？つらい偏頭痛にはどう対処したらいい？などなど、町民の皆さんから寄せられた切実な質問に丁寧に回答していただきました。講演は動画として保存していますので、視聴を希望される方は図書館までお声がけください。

目線を変えると、面白い！

『森は海の恋人』

著：畠山重篤

ダム開発と森林破壊で沿岸の海の荒廃が急速に進んだ1980年代、おいしい牡蠣を育てるために一人の漁民が山に木を植え始めた。漁師だからこそ見出し得た森と海の真のつながりとは？



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

世界に触れる、世界を知る

『GIS 地理情報システム』

著：矢野桂司

生活に欠かせないスマホ地図やGPSを支える地理情報システム「GIS」は、2022年から高校生の必修科目に。防災やSDGsにも貢献するGISの基本や活用の実例を、写真やイラストを使ってやさしく解説。



1月の休館日 (3は18時まで)

1、2、4、10、17、24、27、31

- ・入退館時の手指消毒をお願いします
 - ・滞在時間は短めに
 - ・マスクの着用をお願いします (小学生以上)
- 厚生労働省の発表を受け、未就学児のマスクの着用を一律には求めない方針となりました。

1月の行事予定

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 3日(火) 体育始め
成人式 | 14日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デイ |
| 10日(火) 栲原学園 3 学期始業式
栲原高校 3 学期始業式 | 18日(水) 行政相談
20日(金) 栲原町交通安全の日
21日(土) 栲原学園人権参観日 |

1月の保健福祉課行事予定

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 6日(金) 初瀬いきいき | 12日(木) 越知面デイ |
| 10日(火) 小児健診 | 16日(月) げらげら家族会 |
| 11日(水) 松原サテライト | 19日(木) 四万川宅老 |
| 12日(木) 東区宅老
四万川宅老 | 20日(金) 東区いきいき
26日(木) 四万川いきいき |

毎 週 月 曜 日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

毎 週 水 曜 日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

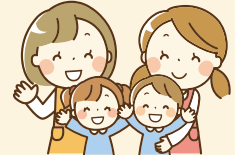
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 17日(火)、24日(火)、31日(火)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 16日(月)、17日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。



林業退職金共済制度(林退共)へ加入しませんか

林退共は昭和 57 年に発足した林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

- 掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となります。
- 掛金の一部を国が免除します。
- 雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

事業者の
皆様へ

- 共済証紙は労働日数に応じて適正に添付して下さい。
- 共済手帳を所持している従事者が林業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導して下さい。
- 詳しいことは、最寄りの支部または本部へお問い合わせ下さい。

【問合せ先】

独立行政法人勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1 ニッセイ池袋ビル
☎03-6731-2889 FAX. 03-6731-2890
ホームページ <http://www.rintaikyo.taisyokukin>

以前、林業の仕事に従事し、その当時、林退共に参加していた方で、退職金請求手続きをしたお当たりの無い方へ退職金をまだ受け取っていない可能性があります。思い当たる方は、最寄りの支部または本部へお問い合わせ下さいね！



文芸

杉の子俳句会

はにかんで金賞指す子文化祭
文化祭呼びとめられて抹茶席
梶原座幟りゆらして文化の日
大小の四四〇太鼓文化祭
学童の俳句もありて文化の日
呼びとめてことづて頼む文化の日
芸術祭解き放たれた若さかな
おなじみの力作揃う文化展
小春日や空家だらけの郷となり
お茶堂の謂れを問われ竜の玉
月を食む光と影の冬の空
紅葉散る一葉ひとはの命燃え

久岡 智子
氏原 陽子
明神伊佐子
西村 幸枝
掛橋 初子
大崎みなと
内野 純子
西村 蓉子
下元 廣幸
川田 早苗
影浦 鉄心
野中 胤雄

柚子の木俳句会

ため池のそばの家なり木通熟る
草の実やジャージにすぎり山降りる
雲海の下に紅葉の見え隠れ
宮の森ポケットいっぱい椎の実
銀杏時雨たちまち冬となりにけり
晩秋の伊予路に咲いたひまわりよ
月蝕も天王蝕もかすむ秋
月清か山の狸も化けそこね
初着物平衝保つ千歳飴

西村由利子
西森 誠子
中平 忠雄
中越 郁子
渡辺 瑞枝
中越 秋子
吉田 敬子
中越 昌一
広瀬 卓雄

狂歌

人命を茶化してみせて首が飛び
願い叶って、顔、津々浦々に
(ハンコの葉梨)

河野 哲夫

短歌

夢でしか逢えなくなつて十三年
今でも私を待ってくれてか

松本 君恵(鬼北町)

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【ふるさとづくり寄付金】

仁尾 豊 様 (高知市)
浅野 祐一 様 (高知市)
有田 行雄 様 (京都府)
二瓶 章 様 (埼玉県)
他匿名希望の方 44名

【その他のご寄付】

西添 安男 様 (仲洞)
故・西添 矩子氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)
岩井 誠 様 (川西路)
故・岩井 章子氏逝去に伴う香典返し (町勢発展へ)
川上 国道 様 (田野々)
故川上 幸子氏逝去に伴う香典返し (社会福祉へ)

●おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
永野	中越 豊年	男	R4.11.4	72	本 人
川西路	川上 幸男	男	R4.11.11	73	本 人
下本村	中東 義友	男	R4.11.15	88	本 人
太田戸	中越 和子	女	R4.11.15	93	本 人
本も谷	永尾 清子	女	R4.11.21	90	本 人
広野	竹田八重子	女	R4.11.29	101	本 人

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています



茅葺の川上氏 県より表彰 あわせて大崎氏による書籍出版

梶原町上本村の川上義範氏が高知県産業技術功労表彰を受賞されました。

川上氏は、昭和56年以来、伝統技術である茅葺き技術を承継し、長年にわたり文化財の茅葺屋根の葺き替えや修繕に精励し文化財の保護に貢献され、また後継者の育成や伝統技術、技法の保存にも努め、その功績が認められたものです。今後ますますのご健勝と、ご活躍をご祈念いたします。

県内施工実績

- 吉村虎太郎邸 (津野町)
- 高野の舞台 (津野町)
- 下津井の茶室 (四万十町)
- 吉井勇草庵「溪鬼荘」(香美市)
- 中岡慎太郎生家 (北川村)
- ジョン万次郎の生家 (土佐清水市)
- 旧掛橋和泉邸 (梶原町)
- 津野山舞台 (梶原町)

また、この度、元・梶原町役場職員の大崎光雄氏により、川上義範氏の功績や茅葺き家屋の歴史や施工手順などをまとめた『茅葺き伝』が出版されました。大崎氏は、令和元年秋に雲の上の図書館で開催された「ゆすはら大学」で川上氏の講演を聞いたことをきっかけに茅葺きの技術を伝えるための本の執筆を決意されました。

本書では、川上氏の生い立ちや業績に加え、建築家の隈研吾氏をはじめ13名の方からの寄稿も掲載されており、川上氏の人柄や仕事ぶりが紹介されています。



『茅葺き伝』は高知新聞総合印刷から発行されており、雲の上の図書館で貸し出しもされています。



▲著者の大崎光雄氏と功労賞受賞の川上氏



▲『茅葺き伝』大崎光雄著 (高知新聞総合印刷発行)

編集後記

フワフワと雪虫の飛ぶ季節になりました。梶原に住み始めて、この冬の到来を知らせる雪の妖精の存在を知りました。庭先で見かけると、誰かに見たよ見たよと言いたくなる。確かにしばらくすると初雪が降り、お告げは見事に当たっていたように思います。

しかし近年雪虫が飛んでも、再び暖かさは戻り一向に雪の降る気配はありません。雪虫はアブラムシの仲間です。春にはキンモクセイやヤチダモにいて、夏はトドマツの木の根元に暮らし、秋の終わり、卵を抱えた雌たちが再びヤチダモやキンモクセイに移動する。その瞬間を初雪の使者として私達が目にするのだそうです。梶原に、たとえまだ雪は降りそうになくとも、あの小さな体で懸命に季節を感じながら引越しを繰り返している。

彼らは地球温暖化による気候変動の影響を受けないのでしょうか。

今、多くの生物や国や人々の暮らしが温暖化の影響を受け、地球全体が刻々と厳しい時を迎えています。温暖化の影響を最小限にとどめるためには、温室効果ガスを削減する事だと言われています。身近な事のできる事として、大きく二つ、省エネとゴミの減量。私達の日常の取り組みが、この冬の私の過ごし方が、地球の未来につながっているのだと、小さな妖精は考えさせてくれました。皆様にとって、明るい良い年になりますように。

〈広報編集委員会〉

発行所 / 高知県高岡郡梶原町役場
☎0889-65-1111
URL <http://www.town.yusunohara.kochi.jp/>
発行業編集 / 梶原町役場 印刷所 / 南中島出版印刷